

2月行事予定								
月	日	曜	学校行事	朝の時間	学年授業時数			ことば・PTA
					1年	2年	3年	
2	1	土						
	2	日						
	3	月	委員会	朝会	5	5	5	5 6 6
	4	火	安全指導 たてわり班活動 ICT	安全	5	5	6	6 6 6
	5	水	午前授業 見守り隊 SC	集会	4	4	4	4 4 4
	6	木	新一年生保護者会 1、2年午前授業 バイキング給食(5) 理科出前授業(4) SC ICT	読書	4	4	6	6 6 6
	7	金	ICT	算数	5	5	5	6 6 6
	8	土						
	9	日						
	10	月	クラブ見学 ICT	朝会	5	5	6	6 6 6
	11	火	建国記念の日					
	12	水	SC	集会	5	5	5	5 5 5
	13	木	長縄記録会 バイキング給食(6) 色覚検査(2・希望者) ICT SC	読書	5	6	6	6 6 6
	14	金	ICT	算数	5	5	5	6 6 6
	15	土	土曜授業 学校公開 災害伝言ダイヤル(5) 薬物乱用防止教室(6)	読書	3	3	3	3 3 3
	16	日						
	17	月	イングリッシュウィーク始 クラブ ICT	朝会	5	5	5	6 6 6
	18	火	ICT	国語	5	5	6	6 6 6
	19	水	SC	集会	5	5	5	5 5 5
	20	木	模擬選挙(6) SC ICT お話パラシュート&ロケット	読書	5	6	6	6 6 6
	21	金	イングリッシュウィーク終 ICT かがやき	算数	5	5	5	6 6 6
	22	土						
	23	日	天皇誕生日					
	24	月	振替休日					
	25	火	ICT	国語	5	5	6	6 6 6
	26	水	SC	集会	5	5	5	5 5 5
	27	木	6年生を送る会 SC	清掃活動(2・5) 算数	5	6	6	6 6 6
	28	金	ICT	読書	5	5	5	6 6 6
	1	土	音楽教室発表会(杉並公会堂)					

SC…スクールカウンセラー SST…ソーシャルスキルトレーニング ICT…ICT支援員

※予告なしの避難訓練があります。

2月の生活目標

月目標 寒さに負けずにがんばろう

現在、本校でもインフルエンザに罹っている児童がいます。手洗い・うがいをしっかりとすること、外遊びで身体を鍛えること、バランスよく栄養をとること、早く寝ることを継続していきましょう。学校でも指導しますが、ご家庭でも折りに触れてお話ししていただけますと効果が上がりますので、よろしくお願ひいたします。





杉十

2月号
令和7年1月31日
杉並区立杉並第十小学校

自分と違う他者を認め、受け入れることができるよう

1年で一番寒い時期は過ぎたものの、まだまだ冷たい風が時折吹き抜けていきます。体調管理に気を付けながらお過ごしください。

杉並区教育委員会の「教育ビジョン2022」には、「多様化する社会の中で、誰もが自分の個性を大切にし、自分らしく生きるために、あらゆる他者を固有の尊厳を持つ存在として互いに尊重し合うことが必要です。共に生きる他者の個性に気付く感性を養い、人々の多様性を知り、自分とのちがいを認め合う関係をつくることで、自尊心が高まり、尊重し合い、支え合う気持ちを育むことへつながっていきます。その積み重ねが、多様な背景を持つ人々が交流し、思いをおくり合い、自分らしくよりよく生きていこうという意識や積極性へつながり、生きる喜びを確かなものにしていきます。」と述べられています。自分と違う他者を認め、受け入れるために大切なこととして、ビジョンには、「他者への想像力を働かせて、自分とは異なる思いや考えがあることに思いをめぐらせることによって、さまざまなかがいや特性を越えて、互いに認め合い、受け入れ合うこと」が示されています。

杉並第十小学校にはたくさんの多様な個性をもった子供たちがいます。考え方も違えば、好きなことも違います。このような多様な個性をもった一人ひとりが相手を思いやり、安全で安心に過ごしていくためには具体的にはどのようなことを身に付けさせていくことが必要なのでしょうか。

私は「時間を守ること」「整理整頓すること」「礼儀正しくすること」の3つを身に付けさせていくことが必要だと思います。なぜなら、これら3つは集団の中でお互いに気持ちよく過ごすためのスキルだと思うからです。

「時間を守ること」については、朝の登校時間を守ることから取り組むとよいと思います。朝の

副校長 久保田 直人

様子を見ていると、8時20分までに多くの子供たちが登校しています。引き続き、8時20分までに登校できるように子供たちにお声掛け下さい。

「整理整頓すること」については、まず靴のかかとをそろえて靴箱に入れることに取り組むとよいと思います。ご家庭においても、引き続き玄関の靴をきちんとそろえる等お声掛け下さい。

「礼儀正しくすること」については、まず挨拶することに取り組むとよいでしょう。朝、挨拶指導をしていると、自分から明るい声でお辞儀をしながら挨拶をしてくれる子供がたくさんいます。それを聞いた私は「よい挨拶ですね。」と声を掛けます。これも地域と保護者と学校が力を合わせて挨拶指導をしている成果だと思います。引き続きご家庭でもお声掛けください。

以前、朝日新聞の「折々のことば」に以下のようなことが書かれていました。

「これらのスキルはすべて、一歳から死ぬまで練習できることですよ」(アンナ先生)

フィンランドに移住した社会学者の朴沙羅は、子どもが通う保育園の担任に、まず「友達の作り方のスキル」を学ぶと伝えられ一瞬戸惑った。共感や根気や感受性は、個人の才能や素質ではなく「練習すべき技術」だというのだ。人格ではなく問題に焦点を当て、それを解決するために磨くべき技術。なるほど人生、最後まで「練習」が続く。『ヘルシンキ 生活の練習』から。

互いを認め合い、自分らしく生きていくことは、他者のいのちも自分のいのちも大切にして、そのいのちを輝かせていくことに他なりません。

杉十小では、人を思いやり、自分も他の人も大切にすることができる、そして自分を輝かせていく教育を保護者・地域の皆様と力を合わせてこれからも進めてまいります。

委員会活動の紹介

杉十小の5・6年生の児童は、委員会に所属し、学校生活の充実と向上を目指し、積極的に活動しています。鳥骨鶴委員会には、4年生が所属して活動しています。

委員会活動を通じて、みんなでよりよい学校生活にしようと頑張っています。

集会委員会

鈴木 灯

毎週水曜日に体育館で全校集会の司会をしています。集会委員会はみんなが楽しめるような企画を話し合って考え、集会を行っています。今後もみんなが夢中になれる集会をつくり上げていきます。お楽しみに！

代表委員会

森井 桃果

週に2回、朝8時5分からあいさつをされて、気持ちよくスタートできるようにあいさつ運動を行っています。他には、旗の上げ下げや、募金活動など、学校の代表として、責任のある仕事をしています。

飼育・栽培委員会

間所 理人

光庭ではオクラを育てていて収穫が終わりました。水槽には現在、金魚、ザリガニ、アカハライモリ、ヤモリがいます。これからも水槽の水かえやエサやりをして、大切に育てていきます。

放送委員会

橋 美莉愛

毎日朝と給食の時間に放送を行っています。季節に関するなぞなぞや曲、先生クイズなど、全校のみなさんに楽しんでいただけるような内容をきかくしています。これからの放送も、楽しんでお聞きください。

図書委員会

中村 沙龍

図書委員会では、毎週、自分の担当の日、本の整理や、本の貸し出し・返却などを行います。読書月間では、みんなが本に親しめる企画を考えています。ぜひ、図書室に本を読みに来てください。

健康委員会

左近充 麻柳

毎日、休み時間に水質検査と栄養黒板の食材カードの貼り換えを行っています。委員会のときには石けん補充や、週ごとの反省を行っています。栄養黒板は栄養素ごとに分けてカードを貼っているので是非注目してください。

校内美化委員会

西田 壮志

毎月、全クラスのリサイクルボックスの回収、上履きのリサイクル、週目標の貼り替えなどを行っています。紙のリサイクルをすることで、環境を守ることができるので、責任をもって取り組んでいます。

運動委員会

田上 遼

体育の授業などで使用する体育倉庫を月曜日から金曜日まで朝八時から八時十五分の間で、きれいに体育倉庫を使い体育ができるようにそうじを行っています。これからも体育倉庫をきれいに使ってください。

鳥骨鶴委員会

伊勢川 深織

4年生は、学年でウコッケイの世話をしています。鳥骨鶴委員会では、エサや水などの世話の仕方を教えたり掃除の用具をそろえたりしています。今、ウコッケイは、5羽います。ウコッケイが元気に暮らせるように頑張っています。

学校安全隊

渕井 結恵

学校安全隊では、毎月最後の週に廊下歩行についての呼びかけをしたり、ふれあい月間にいじめ防止の呼びかけをしたりしています。全校生が気持ちよく過ごせるように活動しています。皆さんも協力お願いします。

4年生から3年生への引き継ぎ

鳥骨鶴委員会担当 掛本 芽吹

4年生は鳥骨鶴委員会を中心に、暑い日も寒い日も、1年間鳥骨鶴の世話を続けました。鳥骨鶴小屋の掃除の仕方やえさや水の量などについて、3年生に引き継ぎたいことを考えて、準備をしています。



校内書初め展

書初め担当 小松 瑞紀



1月16日(木)から24日(金)まで、コモンスペースに展示しました。書初め本番では、集中して書く姿が見られました。他の学年の作品を見た際には「すごく上手」などの声が聞こえ、楽しんで見ていました。

赤十字募金

代表委員会担当 安田 富士成

1月23日(木)から25日(土)までの3日間、赤十字募金を行いました。朝の登校時間から、代表委員会の子供たちによる「おはようございます。募金、お願いします。」という元気な声が響き、たくさんのご家庭にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

今回の募金で集まったお金は、義援金として外国や被災地に向けて、生活の援助を目的に寄付させていただきます。

こうした活動を通して、困っている時にはどうしたらよいのか、また助け合う心をもつことの大切さ等について、改めて考えていくらと思います。



一人一人の特性に応じるために

特別支援教育コーディネーター 安田 富士成

学校では、いろいろな子どもたちが一つの教室で学んでいます。理解がはやく次から次へと課題をこなしたい子、ゆっくり丁寧に取り組みたい子、新しいことが苦手な子、一つのことをとても詳しく知っている子など、学習面だけでも様々な違いが見られます。私たち杉十小の教員は、児童が安心して学校生活が送れるよう一人一人の特性に対応するために、特別支援教室の教員とも連携を図り、日々児童理解に努め、指導・支援を行っています。その中で、学校生活で必要と思われる個別の支援について、ご家庭と共に理解を図り、一貫性のある支援を行えるように「学校生活支援シート」を作成しています。「学校生活支援シート」は、保護者の方と担任とで、お子さまに必要な支援について話し合って作成します。「学校生活支援シート」は次年度の引き継ぎ資料として、進級した次の担任がどのような支援をしていくか考えるための重要な役割を担っています。お子さんのことで気になることやご心配等ありましたら、いつでも担任、特別支援教育コーディネーターや専門員、スクールカウンセラーにご相談ください。保護者の方と面談等をしながら共に学校生活支援シートの作成を行い、適切な支援に役立てていきたいと思います。